

競技について

- (1) 競技は、(財)日本ソフトテニス連盟の「ソフトテニスハンドブック」と今大会の「競技要項」、及び以下の確認事項によって行う。
- (2) コート割及び進行プログラムは別紙の通りとするが、試合進行や天候の状況によっては変更することがあるので、本部からの放送には十分注意すること。
- (3) マッチは全てシングルス5ゲームで行う。荒天時は、ゲーム数の変更をする場合がある。
- (4) マッチの開始前の練習は1分以内とする。ただし、荒天時は行わない場合もある。
- (5) アンパイヤーの判定に対する異議の申し立ては認めない。アンパイヤーの判定について疑問がある場合、プレーヤーは質問を行うことができる。アンパイヤーの指示に従わない場合は、警告を与える。
- (6) ベンチは、番号の小さい方が本部側とする。
- (7) 審判は、試合の終わった選手2名がそのコートで行われる次の試合の審判をする。
- (8) プレーヤーはお互いにマナーを尊重し、過度のかけ声または相手を不快にする態度・発声をしないこと。
- (9) プレーヤーはアンパイヤーの指示に従い、マッチの開始から終了まで連続的にプレーすること。遅延行為については、警告を与えることがある。
- (10) プレーヤーは、シャツの袖をまくらないようにすること。
- (11) 試合中の助言、アドバイスは行わないこと。
- (12) 給水については、チェンジサイズ時に加えてチェンジサービス時にも認める。ただし、中央の審判台の下で行うこととし、チェンジサイズ時に水筒等を審判台の下へ持って行くこととする。この際、ベンチに戻ることは認めない。さらに、ファイナルゲームのチェンジサイズ時も同様の形での給水を設けることとし、外気温が35℃以上の時はファイナルゲーム前に3分間の休息をとる「ヒートルール」を適用する。猛暑の時は日傘をベンチに持ち込んでも構わない。
- (13) ステップ3への出場が決まった選手と保護者は決定後に説明があるので会場に残ること。
- (14) ゴミは各自持ち帰ること。